

## 研究課題名

感染症発生動向調査等におけるウイルスの分子疫学解析法の検討

## 研究の概要

感染症発生動向調査では、病原体情報等を収集・分析し、流行している病原体の検出状況及び性状を確認することが求められている。当センターでは、同事業において、ウイルス検索を実施しているが、臨床的に検査・診断が困難な患者検体（インフルエンザ様疾患や不明発疹症等）の搬入も多く、検査対象のウイルスが検出されない事例が存在する。そのため、実際の流行状況を把握する目的で、より網羅的かつ効率的な検査体制の整備が必要である。本研究では、ウイルスの検査体制及び分子疫学解析法の整備を目的とし、real-time PCR法を中心とした検査体制の検討を行う。さらに、臨床検体由来のウイルス遺伝子を対象とした、次世代シーケンス解析法の検討を実施することで、従来検査対象でなかったウイルスの検索を試みる。

## 研究期間

令和3年度から令和5年度まで

## 研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター  
所長 吉村 和久

## 研究責任者の氏名

微生物部ウイルス研究科  
熊谷 遼太

## オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。